

学校 番号	49	学校名	諏訪二葉 高等学校
----------	----	-----	-----------

令和 5 年度学校評議員活用状況報告書

第 2 回学校評議員会 【令和 6 年 2 月 13 日（火）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- 学校長挨拶
- 議事
 - ・自己評価について
 - ① 進路指導
 - ② 学習指導
 - ③ 生徒指導
 - ④ 生徒会活動
 - ⑤ 部活動
 - ⑥ 学校の施設整備状況
 - ⑦ PTA 活動
 - ⑧ 各学年より 3 年→2 年→1 年
 - ⑨ 学校の 1 年間の取り組み 新聞記事から
- 来年度に向けてのご意見・ご要望

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- 事前に会議資料を配布したので、担当係より説明する内容は補足が必要なものや、ご意見をいただきたい部分に関わってのみに絞った。ダラダラ説明する時間を削減できた。
- 担当係より討議したり、ご意見をいただいたりする内容を明確にすることにより、発言者が発言をしやすくなった。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- 生徒“指導”という言葉から生徒“支援”という標記に変わることにについて。
指導と支援は明確にわけてほしい。心の悩みを抱える生徒の増加もあるし、一歩を踏み出す支援が必要な場合もある。しかし、何でも手を差し出してあげるのではなく、失敗をさせたり、本人の意志あるところへ支援したりというなら賛成である。
- PTA の活動“縮小”傾向について。
学校でどんな活動が行われているかは最小限知ってはいくてはいけない。知ることによって評価もできるようになるのではないかと。PTA や同窓会は学校生徒の要望を応援するものである。学校から要望があると PTA も協力しやすい。
- 学習指導に関わって、「家庭学習の時間が少なくなっている」ことについて。
整ったネット環境でタブレットを活用し、効率的な学習に取り組んでいるのかもしれない。

○学校評価アンケートをはじめとして、アンケートを指導や改善に向けた有効な活動にしにくいことについて。
アンケートは課題を解決、改善するために実施している。ただ今年度の様子を知らせるのではなく、昨年度とのデータ比較があると見えてくるものもある。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

○昨今話題の「ジェンダー問題」については避けて通ることができない内容であるので、問題が起来てからでは遅い。問題が起きる前に慌てないように議論しておく必要がある。

○限られた時間の中でより今後の学校運営に有効なご意見をいただくことができた。

※報告書は2枚以上になってもかまいません。実施後、できるだけ早く提出してください。
なお、報告書のみメール添付にて担当までご提出ください（会議用資料等は不要です）。